平成 30 年 7 月 23 日

都市計画課
担当者　野村、大平
内線：５２３５
外線：076-225-1493

「メタン活用いしかわモデル」の下水道展’１８北九州への出展について

石川県は、小規模下水処理場向けに産学官連携で開発したメタン発酵技術「メタン活用いしかわモデル」を、全国の自治体に対して広く周知するため、下水道の全国規模の展示会である「下水道展’１８北九州」へ出展いたします。

記

１　日　程　　平成３０年７月２４日（火）～７月２７日（金）

２　場　所　　西日本総合展示場（福岡県北九州市小倉北区浅野３－７－１）

３　内　容　　「メタン活用いしかわモデル」の紹介

- 実機を導入した中能登町の紹介パネルを展示
- 「循環型社会の形成」をテーマにメタン発酵から生成される肥料の活用状況を紹介
- 県内企業が新たに開発した「高濃度汚泥撹拌技術」や「汚泥改質技術」を紹介（県内企業と協同出展）
- パネルや試算ツールを使用し、メリットや導入効果を説明

※要請があれば､当課で撮影した当日の出展状況の写真データを提供いたします。

（参考１）「メタン活用いしかわモデル」とは

メタン発酵技術の普及が進んでいない小規模下水処理場向けに開発した低コストのメタン発酵システム

・導入の意義

① 汚泥減量化による、汚泥処分費の低減
② メタンガスを再生可能エネルギーとして、発電・熱利用に活用し、維持管理費を低減するとともに、地球温暖化防止に貢献
③ メタン発酵後の汚泥を肥料化し、資源として循環利用

（参考２）「下水道展’１８北九州」の概要

・主　　催：公益社団法人　日本下水道協会
・内　　容：下水道展は、下水道事業の管理者である全国の地方公共団体等を対象に、全国の下水道関連企業（団体）の最新の技術・機器等を展示紹介するもの。
・昨年実績：出展者数 350 者（企業・団体）、来場者数 55,792 人　（東京ビックサイト）